

ハンズフリー松葉杖の臨床的利点

松葉杖や膝スクーターに比べ、ハンズフリー松葉杖（HFC）は患者の日常生活動作を可能にすることは、現在ではよく理解されている。しかし、医学的な利点はあまり知られておらず、現在ではエビデンスに基づいた研究結果が発表されています。松葉杖や膝スクーターと HFC の比較では、HFC が以下のような利点をもたらすことが示されています。

- 患者の嗜好性の向上 - 患者の 90% が松葉杖よりも HFC を好んで使用し、日常生活動作をこなす際に最も好まれている。
- 日常生活動作の能力 - HFC 使用者はより機能的で、受傷前に通常行っていた日常生活動作を行うことができる。
- 筋活動の増加 - 松葉杖もスクーターも、非荷重肢の筋活動は最小限です。HFC では、患肢の上肢と下肢の両方の筋肉が、介助なしの歩行と同様の位相で活性化されます。
- 筋萎縮の減少 - 松葉杖や膝スクーターに比べて、HFC を使用すると筋萎縮が減少します。
- 血流量の増加 - 松葉杖や膝スクーターと比較して、HFC を使用すると静脈血流量の有意な増加が観察されます。
- DVT リスクの軽減 - 下肢の筋活動と静脈血流量の増加が測定され、DVT リスクの軽減につながります。
- 酸素濃度と供給量の増加 - HFC を使用することで、損傷肢の筋肉への血液酸素供給量が増加します。
- 安定性と安全性の向上 - HFC の使用者は松葉杖よりも安定性が高く、松葉杖や膝スクーターよりも二次的な移動器具や転倒に関連する怪我が少なくなります。
- 回復の早さ - HFC は松葉杖や膝スクーターよりも回復が早く、退院や職場復帰が早まります。
- 非荷重の推奨事項へのコンプライアンスの向上
- 脳の可塑性の変化が減少



クラス

FDA クラス I 医療機器
カナダ保健省 クラス 1 医療機器
CE クラス I 医療機器